

出演/北村直樹

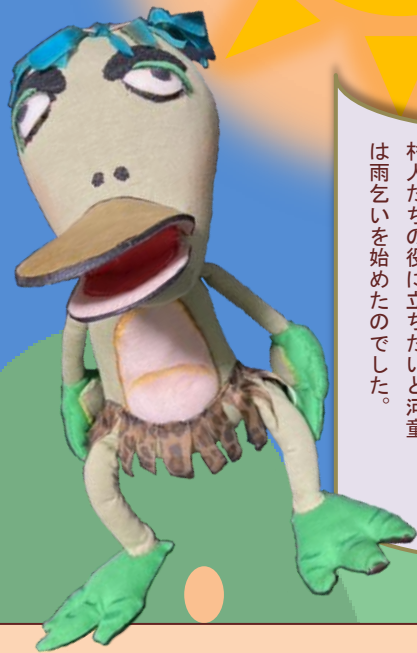
脚本/演出/美術/上中ヒデミ

音楽/うあい

同時上演
ねずみのすもう



カッパの雨乞い



ものがたり

ある村に一匹の河童が棲みつき悪さばかりしておりました。村人から相談を受けた坊さまは、お寺に遊びに来るよう河童を誘いました。お寺に通うようになった河童は次第に坊さまに心を開くようになり、自分も人間に生まれ変わりたいと願うようになりました。その年の夏、村では日照りが続き井戸の水も無くなりそうになっていました。そこで、今まで迷惑をかけてきた村人たちの役に立ちたいと河童は雨乞いを始めたのでした。



ひとりの坊さまとの出会いで荒んでいた心がいつの間にか溶け、日々の生活が楽しくなり、そして、人を思いやるできるようになったカッパの心の変化を感じてもらえればと思います。実は、昔話ではカッパはやぐらの上で息絶えていたのです。でも、お芝居として子どもたちに観てもらう時、カッパには何としても生きてほしいと思いました。生きてこそ、悪さの償いや、新しく関係を築き上げることだってできるのです。観てくれた子どもたちが、その後の物語として、カッパと村人が楽しく暮らしている様子を思い描いてくれれば嬉しいです。

〒840-0851 佐賀県佐賀市天祐1-15-18
Tel 090-5738-3163 Fax 0952-43-7017